

今年も総会の時期となりました。NEWのみなさまはいかがお過ごしでしょうか。

今回のNEWSは、3Rプロジェクトが担当しています。

「断捨離」がブームになって以来、「もったいない」は少しすたれてしまった感があります。古本屋でたまたま見つけた『ゴミと暮らしの戦後50年史』（市橋貴著、2000年、リサイクル文化社）をパラパラとめくってみると、昔の缶飲料の話が載っていました。「当初は穴あけ器でふたに穴をあける手数を要したが、昭和42年にイージーオープン式のアルミふたがビール缶に採用されるに及び、この便利さはたちまちにして消費者に歓迎され、すべての飲料に普及し、今日の飲料缶が爆発的に伸びる基となった」という記述がありました。

すっかり忘れていましたが、そういえば、子供の頃、穴あけ器がまだ家にあり、缶ジュースを飲む際、使っていた記憶があります。今では、ペットボトルやスクリーキャップ式のアルミ缶なども登場し、便利さを競っています。洗って繰り返し使えるリユースビンは、ビールやお酒以外、もうほとんど見ることがなくなってしまいました。反対にペットボトルは爆発的に増えました。便利になればなる程、消費が増え、並行してエネルギー使用量も増え、ごみも増え、温暖化も進行しました。しかも、私たちはこの便利な「使い捨て」生活を手放すことができないでいます。

今年の総会記念講演は、使い捨て生活に一石を投じるものになるのではと期待しています。



### 総会記念講演会「捨てない、焼かない、生かしてリサイクル」

マツユキリサイクル社長 松岡幸一氏

5月19日（土）午後3時から 中部公民館4階 第4講座室（総会は1時～）

今年のNEW総会での講演は、2011年度経営者「環境力」大賞※を受賞された「マツユキリサイクル」の社長松岡幸一さんです。松岡社長は限りある資源が有効利用されることなく、未だ多くが捨てられ、燃やされている現実を心を痛め、緑ゆたかな大地、美しい地球を未来に残していくためにも一人一人が真剣に環境問題に向き合うことが大切だと訴えられています。また日本で捨てられている多くの古着や靴（カバン）・靴（クツ）のリユースに取り組み、発展途上国に送ってられます。私たち日本人は「型が古い」「色が褪せた」「小さくなった」等の理由で多くの衣類や靴・鞆等を捨てていますが、多くの発展途上国では新しい衣類を買うことができない人、着るものが無くて死んでいく赤ちゃんもいるとのこと・・・日本の古着は丈夫できれいで現地の人々に大人気だそうです。

そして「ぬいぐるみ」も送られています。その心をお聞きしましたら「どんなに貧しい国の子どもでもぬいぐるみで遊ぶのですよ」「衣類の束の中にそっとぬいぐるみを忍ばせておくのです」と仰るその笑顔が実に素敵な社長です。

発展途上国の衣類事情、生活事情、そして環境・・・実際に発展途上国に行って様々な体験をされている松岡社長のお話をお聞きし、私たち日本人の暮らしを見つめ直す機会になればと思います。多くの皆さまのご来場をお待ちしています。



家庭から出た古着は



プレスされて



アフリカ・東南アジアへ

※「経営者「環境力」大賞」とは…（1面に続く）

経済性や利便性のみを求めてきた暮らしや社会経済活動を見直し、真に豊かで持続可能な社会を目指して21世紀の社会をリードする資質をもった中小企業経営者を表彰する、【経営者「環境力」大賞】。NPO法人環境文明21と日刊工業新聞社が共催。奈良県では大和信用金庫に次ぎ二社目。

### 【これからの予定】

- ・ 4月22日（日） アースデイ奈良2012 10時～16時 場所：奈良公園登大路園地 公園会場  
◎当日スタッフ募集中！  
「もったいない」をテーマに出展します。ごみの出ない暮らし方、楽しい省エネ・省資源のアイデアがいっぱいつまったブースにしたいと思います。お手伝いいただける方は、当日直接NEWブースまでお越しください。遊びに来ていただくだけでも歓迎です♪
- ・ 4月23日（月） 3Rプロジェクト例会 10時～正午 場所：ボランティアインフォメーションセンター 1-2会議室
- ・ 4月24日（火） 環境教育プロジェクト例会 13時30分～15時30分 場所：ボランティアインフォメーションセンター 1階会議室
- ・ 5月8日（火） 幹事会 10時～正午 場所：奈良市役所北棟2階第12会議室
- ・ 5月9日（水） 社会実験WG第20回会合 14時～ ボランティア・インフォメーションセンター 1階会議室（予定）
- ・ 5月19日（土） NEW総会 13時～14時30分 15時～16時 定期総会記念講演  
場所：中部公民館4階第4講座室（総会・講演は同じ会場です。講演は一般の方の参加も歓迎）
- ・ 5月22日（火） エコエコサロン 13時30分～15時30分 場所：ボランティアインフォメーションセンター 1階会議室（予定）
- ・ 5月23日（水） 省エネ・創エネプロジェクト例会 14時～ 場所：奈良市西部公民館（予定）

### 【エコエコサロン 担当：岡野】

今回は、「もったいない」をキーワードに、皆さんと共に考え、話し合う場を持たせて頂きたいと思います。日々の生活の中で、食べる物・着る物・身近な持ち物などを少し見渡して、工夫をしてみませんか？

「安いから」と、つい買ってしまった物。

「型が古いから。」と、捨ててしまう服・靴・カバン。

要らないのに、ついもらってしまうレジ袋。

あふれるほどの物の中で私達は生活し、まだ使える物を、たくさん捨てていないでしょうか？

今回のエコエコサロンは、どなたでも気軽に、ご参加して頂きまして 皆さんが、工夫されている事など知恵を出し合って情報や意見の交換をさせて頂きたいと思います。もちろん、聞いて頂くだけでもOK♪です。どうぞ、お誘いあわせの上 ご参加ください。

○日時：5月22日（火）13時30分～15時30分

○会場：ボランティアインフォメーションセンター 1階会議室（予定）

○ご不要な靴やカバン、ぬいぐるみ、古着などがありましたら、回収しますので会場までご持参ください。回収したものは、総会記念講演でお話いただくマツユキリサイクル（松岡幸一社長）さんへお渡します。

☆注意事項（古いものでもOKですが、下記に注意してください）

- ・靴は両足がバラバラにならないように、ひもなどで縛ってお持ち下さい。
- ・カバンは、布製でも革製でもビニール製でもOK、形もほとんどのものは大丈夫ですが、スーツケースのような固いものは、プレスした際に壊れるので回収できません。
- ・布団類や半てんは、回収できません。
- ・古着は破れていないもの、ひどい汚れのないものをお持ち下さい。
- ・もし、ご自身が所属する自治会で古着を回収しているようでしたら、そちらを優先してください。

.....

※次回のサロンは、エコ・クッキング講習会を予定しています。女性はもちろん男性も気軽にご参加いただけます。お楽しみに！

## ◎社会実験WG 担当：村木

3回の会合（1月17日、2月14日、3月12日）をもち、社会実験の運営、とくに中間報告会と講演会の開催、社会実験通信第3号の発行などについて話し合った。

また、「データ解析班」が4回の会合を持ち、それらをベースに中間報告書を作成した。

### ○中間報告会&講演会開催

2月に実験が6ヵ月経過した時点で半年を総括する中間報告会を開催した。報告の内容は本報告書の第4章と5章を中心とするもので、参加者の皆様のお陰で非常に良い結果を報告することが出来た。

併せて開催した濱恵介氏の講演「エコ住宅で心地よい省エネライフ」は家屋の断熱化など、今後の省エネ活動に多くのヒントが得られたと大好評であった。

### ○社会実験通信「チャレンジ！削減CO<sub>2</sub>だより」の第3号発行に向けて

通信第1号、2号に続き第3号を編集・発行する。主な内容は、7月～2月分の省エネ進捗状況、大いに削減している「ポコ・ア・ポコ」のグループミーティング取材記事、中間報告会&講演会の概要、エコハウスでエコライフをされている濱恵介宅のアドバイス、省エネシンポジウムの報告、今後のスケジュールなどから成る。

### ○中間報告書作成

6ヶ月の社会実験で集まったデータを解析するための「データ解析班」が4回の会合を持ち、種々検討した。その検討を基に仕組みの問題点・課題を評価し、中間報告書をまとめ、350部印刷製本した。

それによると、①市民は本仕組みに関心を示すか？ ②市民は省エネに取り組み、続けられるか？ ③省エネ（CO<sub>2</sub>削減）の効果を出せるか？という本仕組みの評価基準を全て満たしていることが分かった。さらに、削減量を正確に把握でき、エネルギー使用量の少ない世帯でも、十分な削減率を上げることが分かった。

=今後の予定=

○WG第19回会合は4月10日（火）午後2時～、奈良市ボランティア・インフォメーションセンター会議室（終了しました）

## ◎省エネ・創エネプロジェクト 担当：村木

○5回の会合（1月12日、2月7日、2月29日、3月29日、4月16日）をもち、下記2つの会合の運営について、また本プロジェクトの今後の活動について話し合った。

### ○省エネシンポジウムと展示会開催

「省エネしたいが、どうしたら良いの？」「省エネしているつもりが、効果が見えない。」などの疑問に答える、身近な省エネ・創エネの取り組みを紹介するシンポジウムと展示会を奈良市ボランティアインフォメーションセンター会議室で3月17日（土）午後1時半～4時に開催した。内容は、

1) 社会実験「市民の省エネへの取り組みを支援する仕組みづくり」（村木）、2) 継続こそ力～奈良友の会の環境家計簿と鍋帽子活動～（中北さん）、3) 「奈良の環境家計簿」と「うちエコ診断」を活用し「脱・つもりエコ」活動（「うちエコ診断」専用ソフトを使用した模擬診断も。河野さんと松本課員）、4) 災害にも強い、三種の神器でスモール&スマートライフ（移動式太陽光パネル、ソーラークッカー、雨水タンクの展示、西田さん）を2時間半にわたり講演と実演を行った。実物展示と実演が伴い分かりやすく訴えるものが大きかったと非常に好評でした。参加者は約30名。

なお、8日からの1週間NEWの活動や講演内容を紹介するパネル展示を同会場に隣接するフロアで行った。

### ○学生に対し省エネセミナーを実施

3月30日（金）午後1時～2時30分、奈良リハビリテーション専門学校の要望により、1年生約40人に対し、省エネに関する出前講座を行った。

事前に学生からアンケート（家庭での電気／ガスの利用状況や、省エネに関する意識）をとり、その分析結果を踏まえて、プレゼン用資料「平成23年度 NEW省エネセミナー 地球環境と省エネルギーを考えよう」（パワーポイント 20コマ）を中心に、随時に演習用ワークシート「Aの家とBの家を比べて、省エネを探そう」と「環境家計簿でCO<sub>2</sub>排出量と削減量を計算しよう」も使い、講義した。



## ◎環境教育プロジェクト 担当：黒飛

平成23年度は大変充実した1年でした。今年度初めて写真入りのチラシを作ったのが功を奏したのか、あるいは東日本大震災の影響で環境問題に関心が高まったせい、NEW環境出前講座は6月～3月までの間に、なんと計31回・延べ2135名の受講者に対し、実施することができました。2010年度が9講座・延べ305名の受講者だったことから考えても全く予想外の結果であり、予算が不足するのではと嬉しい？悲鳴を上げておりました。今後は奈良市内の全ての小学校・幼稚園がこの講座を受講してくれることを目指して頑張っていきたいと思っております。また公民館や一般団体などへの出前講座も増やしていきたいと思っております。

平成24年度NEW環境体験講座（右写真）  
4月7日（土）、奈良市奈良阪町の佐保山フィールドで、「佐保山菜の花祭り」を開催しました。約60名が参加しました。寒い日が続いたせいか、菜の花はあまり咲いていませんでしたが、菜の花の天ぷら試食、おにぎりのふるまい、灯明体験、匂当てゲーム、合唱、森林紙芝居など盛りだくさんのメニューを楽しみました。



## ◎3Rプロジェクト 担当：栗岡

3回の例会とレジ袋削減キャンペーンを行いました。

### ○1月23日 例会 参加者12名

靴、カバンのリユースについて話し合いました。2011年12月、国見町二丁目交流会は、古着1,000kg、靴・カバン110kgを回収し、マツユキリサイクルさんに引渡したそうです。許斐喜久子さんから、自治会で行うにあたり、それまでの地道なネットワーク作りや靴、カバンをアフリカへ送ることへの思いなどをお話いただきました。また、中倉千代子さん（マツユキリサイクル）からはそれらを受け取るアフリカの様子などをお話いただきました。日本製は、品質が良いため中古でも大変喜ばれているそうです。

### ○2月21日 例会 参加者10名

森田正夫さんから和歌山で開催された「3R・資源循環セミナー in 和歌山」の様子や、3R推進マスター研修会の様子をお話いただきました。また、新井課長からは、環境基本計画のその後の様子や今後についてなどをお話いただきました。

### ○3月17日・3月18日 参加者延べ18名

レジ袋削減キャンペーンをイトーヨーカドー店頭にて実施しました。チラシ約1100枚を配布しました。気のせいか、1日めより2日目の方がマイバッグ持参者が多かったです。

### ○3月21日 例会 参加者10名

新しい参加者を3名迎えて、来年度事業計画について検討しました。また、リターナブルびん普及促進協議会会長でWorld Seed副代表の中島光さんをお迎えし、リユースびんの奈良市での普及の可能性について話し合いました。能勢酒造で作られたリユースびん入りのミネラルウォーター（350ml 1本60円/びんデポジット※10円別途）を奈良市内まで運んでもらえるとのこと。※デポジット=預かり金



イトーヨーカドーでレジ袋削減キャンペーン↑

◎交通プロジェクト 担当：石田

引き続きのマイカー通勤自粛・抑制に関し、昨年12月に実施した奈良市役所職員向けアンケート調査の分析結果と今後の取扱いを協議しました。

結果、10月の第19回プロジェクトにおける中川さんの提言書も含めて交通プロジェクト活動報告書(平成22年～23年度)として纏めることになりました。

下表は最近の活動経緯と概要です。

NO.	実施日時	実施場所	会合案内	参加者数
22	H24.1.24 14:00～ 16:00	ボランティア インフォメーショ ンセンター 1-1会議室	マイカー通勤自粛に関し担当者より昨年12月、市役所職員向けに実施したアンケート結果の分析報告があった。この結果と中川氏提言を含めてプロジェクト報告書として取りまとめることになり、そのための骨子案を次回世話役が用意することになった。	11名
23	H24.2.24 14:00～ 16:00	ボランティア インフォメーショ ンセンター 1-2・5会議室	市役所職員向け「マイカー通勤に関するアンケート」結果の更なる分析内容、ならびに世話役の用意した交通プロジェクト活動報告書骨子案を協議した。次回、報告書素案を世話役が用意することになった。	6名
24	H24.3.27 14:00～ 16:00	中部公民館 学習室	交通プロジェクト活動報告書(平成22年～23年度)素案について協議した。再度次回を査読会として詳細検討することになった。また来年度計画と予算を協議し、引き続きのマイカー通勤自粛とマイカー観光抑制を取り組むこととなった。	9名

○次回会合(終了しました)

日時：平成24年4月13日(金) 14:00～16:00

場所：中部公民館 第2会議室

議題：1) 交通プロジェクト報告書素案③の査読・検討  
2) その他

◎第35回幹事会報告

幹事会は、3月13日に奈良市役所で開催され、幹事10名、事務局2名の出席者で以下の議題について話し合いました。

- ① 第34回幹事会議事録の確認
- ② 社会実験WGの報告と今後の方向性について(社会実験WG報告参照)
- ③ 各プロジェクト活動報告(各プロジェクト報告参照)
- ④ 会計中北さんより2011年度[4月～2月]の収支報告(詳細は後日送付の会計報告参照)
- ⑤ 第5回総会について[会則改訂にむけてと記念講演会について]  
会則については継続審議。
- ⑥ アースデイ出展について

市の人事異動のため、環境政策課の担当者が交代しました

	(旧)		(新)
NEW副会長	大西弘準 参事	→	新井哲彰 課長
課長補佐	新井哲彰 氏	→	油谷彰浩 氏
計画係長	柴田憲一 氏	→	吉村啓信 氏
NEW交通プロジェクト担当	坂崎公俊 氏	→	杉田香代 氏



## 参考資料

2010年度の温室効果ガスの総排出量<sup>2</sup>（LULUCFを除く）は12億5800万トン（CO<sub>2</sub>換算）であり、1990年度の総排出量<sup>3</sup>（LULUCFを除く）から4.4%の増加となった。また、京都議定書の規定による基準年<sup>4</sup>の総排出量と比べ、0.3%下回った。

なお、HFCs、PFCs及びSF<sub>6</sub>の1990～1994年の実排出量については未推計（NE）となっている点に留意する必要がある<sup>5</sup>。

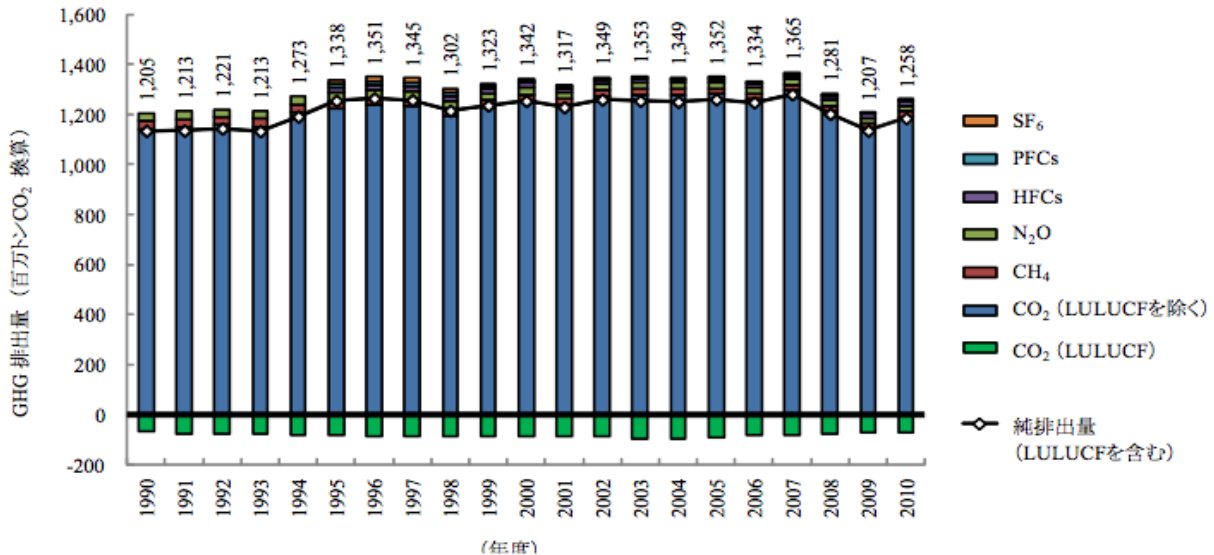


図1 日本の温室効果ガス排出量及び吸収量の推移

出典：日本国温室効果ガスインベントリ報告書（2012年4月）環境省地球環境局総務課低炭素社会推進室 監修

奈良県(平成21年度)	一廃1人1日(g)	奈良県のリサイクル率(%)	全国平均リサイクル率(%)	用途	人口10万人未満			人口10万人以上50万人未満			人口50万人以上		
					リデュース (1人1日当たりのごみ排出量)	リサイクル (リサイクル率※)	エネルギー回収 (ごみ処理量当たりの発電電力量)	1. 奈良県 野迫川村 (ぬせがわむら)	2. 徳島県 神山町	3. 福島県 葛尾村	1. 静岡県 掛川市	2. 東京都 小金井市	3. 長野県 佐久市
生ごみ	319	1	3%	堆肥、飼料	241.5g/人/日	80.7%	646 kWh/ト	642.5g/人/日	47.8%	622 kWh/ト	839.1g/人/日	30.8%	646 kWh/ト
プラスチック	87	19	15%	高炉還元剤、アンモニア、プラ製品	249.8g/人/日	75.3%	622 kWh/ト	249.8g/人/日	46.5%	622 kWh/ト	841.8g/人/日	29.0%	622 kWh/ト
木・竹・草	105	1	4%	燃料	273.5g/人/日	66.8%	593 kWh/ト	273.5g/人/日	46.2%	593 kWh/ト	844.6g/人/日	27.9%	593 kWh/ト
紙	392	58	79%	紙製品(全国平均は古紙回収率)									
繊維	40	11	11%	海外で古着として販売、ウエス、自動車断熱材など									
ガラス	28	61	65%	ビン、断熱材、タイヤ、舗装材など									
陶磁器	33	5	2%	陶磁器									
金属	38	76	90%	金属製品									
ペットボトル	11	33	57%	衣類、卵パック、PETなど									
合計	1,053												

参考：環境省近畿地方環境事務所HP

3Rの取組ベスト3(出典：環境省発表資料H24.3.23)

### 会員募集中

個人会員：年2,000円(学生半額)      団体会員：年10,000円(市民団体は半額)      賛助会員：随意

※入会申込書は事務局にあります。

ホームページからもダウンロードできます。

奈良市のホームページのキーワード検索で検索してください。

奈良市地球温暖化対策地域協議会事務局：奈良市環境部環境政策課

事務局所在地：奈良市二条大路南一丁目1番1号      電話0742-34-4591 FAX 0742-36-5466